

学校の環境を整える…生徒が伸びた枝だけがをしないように剪定や、草刈りをしています。トイレや洗面台が詰まればすぐに状況を把握し、できるだけ早く利用できるように作業します。外で作業するときは周囲に目を配り、来客者や不審者への対応もしています。

東日本大震災のとき…地震直後、停電・断水を予測して、やかんなどに飲料水を確保し、寒さに備えてポータブルストーブ・灯油も準備し、合宿所から布団を準備して地震直後の対応にあたりました。学校は地域の防災拠点として重要な役割を担っています。その学校をすみずみまで把握しているのが、私たち学校現業職員なのです。

生徒の心のよりどころ…生徒が卒業するとき、部屋のホワイトボードに「おっちゃんたちが話を聞いてくれなかったら、とっくに退学してた。卒業できたのもおっちゃんたちのおかげです。ありがとうございました」とメッセージがあり、涙があふれてきました。

年に一度の大舞台…文化祭を前に、生徒に大道具製作のレクチャーをします。たこ糸と黄色いチョークだけで長い直線を引く方法や、大きい円を描く方法を実演すると、生徒から「うおーっ！」と声があがります。初めて見る道具や実演で生徒たちも興味津々です。



特別支援学校のスクールバスの安全を守ります…スクールバスに添乗して、安全運行と、車内外の日々の安全・安心な環境をつくっています。バス停で待っている児童・生徒と保護者へ、笑顔で明るく元気にあいさつして迎えることを大切に心がけています。

高校にブランコ…学校の正門から入ってくる車がスピードを落とさないで心配でした。正門の近くに何か置いてみようと思いつき、手作りののがブランコです。鎖も木の台も、丸太の棒も素材から作って、塗装して組み立てました。

いのちを育む給食調理…特別支援学校には嚙む力や飲み込む力が弱い生徒がいます。そのため、肉は味付け後、人数分を圧力がまで30分以上煮て、片栗粉でとろみをつけて出すなど、再調理・再々調理が必要です。



給食って楽しい…「おばちゃんの手笑顔という名の調味料」「うますぎる みんなで食べたならないうまい」定時制高校の生徒のつくった標語です。定時に通う生徒にとって学校給食の時間は最も楽しい、なくてはならないひとときです。私たちの仕事は生徒たちの健康・命にかかわる大切な仕事です。

技術が財産…30年前、何の技術もなく掃除をすることが精一杯だった私ですが、庭師の方が書かれた本を剪定の参考にしたり、業者の修理を見て技術を身につけたりしました。いろいろな修理やものづくりの依頼をこなす中で、様々なアイデアがでてきて、今では私の財産になっています。

生徒の応援団…毎朝正門や玄関周りで清掃をしながら生徒たちにあいさつ。何かあったときには気兼ねなく話してもらえるよう心がけています。そんな私の姿がモデルになって演劇が上演されました。「用務員さんはぼくたちの応援団だ」という台詞に胸が熱くなりました。

豊かな環境づくりを…殺風景な場所に何かを飾りたい。生徒の作品を発表できる場所がほしいと考えました。そこで美術の先生に相談して、校舎の角柱を展示場所に決め、生徒の描いた絵を展示しました。生徒一人ひとりの個性が輝く場を広げたい。生徒が楽しめる明るいコーナーをつくり続け、豊かな環境づくりの手助けをしていきたいと思っています。

水産高校の実習船で…船の運航、航海当直（見張り）、メンテナンス（ペンキ塗り、その他修理）に関する仕事、出入港に関する作業を通じ、生徒たちと交流をはかりながら、安全な船の運航を担っています。



全国の学校で
がんばっています

知ってほしい

学校現業職員のこと



子どもと学校の安全と安心のために・・・

みなさんは、「学校現業職員」と聞いて、どんな仕事をしている人が頭に浮かびますか？

学校現業職員には、一般業務・給食調理・甲板員・農場作業員など様々な職種があります。たとえば一般業務の職員は、校舎や施設の清掃・点検・整備、木の剪定や草取りなど、安全できれいな環境を整える仕事をしています。給食室では、給食調理員が、子どもたちの成長を心から願いながら、安全でおいしい給食をつくっています。

どの現業職員も「安心・安全な教育環境づくり」という仕事を通じて、子どもたちの健やかな成長・発達に欠かせない役割を果たしています。

ところが、1980年代から財政難を理由に学校現業職員の新規採用がストップされ、正規職員がどんどん減っているのです。正規職員の退職後は、業務の民間委託化がすすめられたり、非正規職員が配置されたりして、いずれも低賃金で不安定な雇用になってしまっています。

教員と力を合わせ、学校のすみずみまで目を配り、毎日おこる様々なできごとに対応し、子どもたちの安全・安心を守る学校づくりを担う学校現業職員は、不安定な雇用ではなく、正規職員としての配置が必要です。

「現業職員は正規で配置を！」

国会請願署名にご協力ください

☆☆ 願いはひとつ☆☆☆☆ 現業職員は正規で配置を！

職員の正規採用がストップしているため、正規職員が退職したあとは、会計年度任用職員（※）など非正規職員が配置されています。民間委託で採用されている人も含め、短時間で低賃金での契約です。生徒の安全や健康を守る重要な仕事をしているにもかかわらず、不安定な雇用と処遇の低さがさまざまな問題を生んでいます。 ※会計年度任用職員とは、地方公務員法の改正により 2020 年度から制度化された職で、1 会計年度（4 月 1 日から翌年 3 月 31 日まで）を最長の任期として任用され、正規職員が行う各種業務の補助を行う非常勤の地方公務員です。

特別支援学校に勤める A さん（半年雇用のくりかえし）

「私は樹木剪定やグラウンド整備、スクールバスの添乗等おこなっています。生徒の安全に配慮し、顔の位置に枝はないか、蜂の巣はないかと試行錯誤の毎日です。給食室の欠員の際には調理補助もおこなっています。仕事は多岐に渡り、楽なものではありませんが、やりがいを感じ 8 年勤めています。

以前から不思議に思っていました。なぜ、正規雇用でないのか。半年更新で仲間もその不安定さ故に何人も辞めていきました。正規雇用ではなく退職金もでない、半年で切られるかもとメンタル的にも不安です。

願いは一つです。臨時職員にも正規雇用のチャンスを！」

県立高校の現業職員の B さん（臨時的任用職員）

「私の仕事をする姿を見た生徒から、『将来この仕事につきたい。どうしたらなれますか？』と聞かれました。うれしい反面、1 年ごとの契約で給料が安い私の仕事をとても生徒にすすめられませんでした」

定時制高校の給食調理員の C さん（正規職員）

「給食調理の仕事で、たとえば 20 kg のキャベツを炒める時のちょっとしたコツを自分たちは先輩から教えられました。最初半分炒めて、火が通ると少なくなるのでまた残りを加えれば 1 つの大きな回転釜で作ることができます。正規がいれば伝えられるのに、民間委託では技術の伝承ができません」

県立高校の現業職員の D さん（会計年度任用職員）

「私は定年退職後も会計年度任用職員の立場で現業職員として働いています。引き続き働けることは、大変ありがたいです。

しかし、正規の時と職務内容に変わりはないにも関わらず、給料は 3 分の 1 程になりました。不安定な雇用や低賃金などの待遇を少しでも改善してもらい、モチベーションアップにつなげていきたいです。

学校教育法・定数法など法律に明記し どの学校にも正規の現業職員の配置を



学校現業職員の仕事は、子どもたちの学習と発達の権利を教育条件整備の面から保障することにより、学校運営上からも必要不可欠な職種です。国の予算でも、学校現業職員は「職員 B」という位置づけで予算措置されています。

ところが、学校教育法や教職員定数法に明記されていないために、必ず配置されるわけではありません。ですから学校現業職員を学校教育法上に位置づけて身分を確立することを求めて、私たちは 1992 年度から署名運動にとりくんできました。2012 年度からは、国会に向けて請願署名にとりくんでいます。

学校教育法 第 60 条「職員」

（現行では）

- ①高等学校には、校長、教頭、教諭及び事務職員を置かなければならない。
- ②高等学校には…（中略）…副校長、主幹教諭、指導教諭、養護教諭、栄養教諭、養護助教諭、実習助手、技術職員その他必要な職員を置くことができる。＊小学校は学校教育法第 37 条（中学校は第 37 条を準用）で、同様に規定しています。

「なぜ改正を求めるのか」

- ◎現行法では、学校現業職員は、第 2 項で「…その他必要な職員…」の一つとして位置づけられているにすぎません。
- ◎法改正により、第 1 項に「置かなければならない」職として、学校現業職員を位置づけることをめざします。

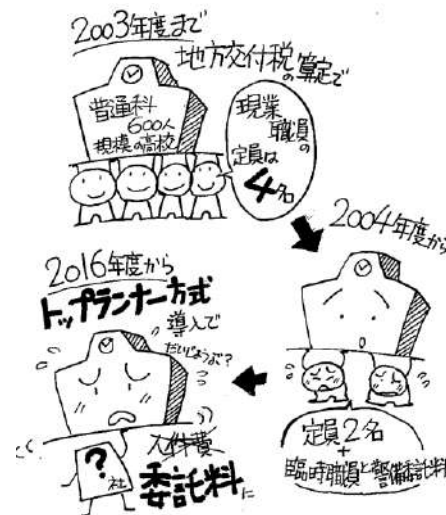
正規の現業職員が一人も学校も!?

「窓ガラスが割れてしまった」「電球が切れてる」「トイレが詰まった」…学校では毎日さまざまなことが起こります。

また、子どもたちはおいしくて栄養豊かな楽給食を楽しみにしています。

安全な給食づくりのために、また、日々のできごとに迅速に的確に対処するためには正規の現業職員が必要です。

それなのに、正規の現業職員が一人もない学校が続々とうまれています。それは正規の現業職員が退職したあと、正規職員を採用しないで、臨時的任用や民間委託にしているからです。財政が厳しいから、という理由で子どもたちの安心安全がおきざりにされてしまっているのでしょうか？



ここが問題 民間委託

★給食は安全なの？

「民間委託化した特別支援学校の給食では、異物混入などのトラブルも。『食べる』ことは『生きる』こと。私たち給食調理員は『手作りの給食』で子どもたちの成長にかかわるこの仕事に誇りを持っています」

★民間委託になっても、突然のトラブル対応をしてもらえるの？

学校では突発的にいろいろなことが起こります。現業職員の業務を民間委託されている場合、蛍光灯のとりかえを頼みたいときでも、まず委託した会社に連絡し、その会社からの指示があつて、やっと業務員さんにとりかえをしてもらえるのです。直接頼むことは偽装請負になるからです。

★給食がつくれない？

民間委託業者は入札で決まります。2015 年 4 月に静岡県浜松市の市立小中学校 4 校で、学校給食の調理業務をいったん受託した業者が 3 月 30 日になって「人材の確保が困難になった」として辞退してしまいました。市の教育委員会は代替りの業者を確保できず、1 学期中は外注弁当での給食となってしまいました。

★民間委託でほんとにコスト削減できるの？

「業者に頼んだら数十万円かかるペンキの壁塗りを、私たちは 5,000 円でしました。体育館の防球ネットは 60 万円かかるところを 6,000 円で作ります。業務研修も受け、私たちは様々な技術を身につけています！」

★民間委託が官製ワーキングプアを生む

受託会社の業務員 T さんの年収は 127 万円で、ダブルワークをせざるをえません。早朝・残業手当もつかないサービス労働が慢性化。低賃金なのに責任は重大。短期間で辞めてしまう人も多く、継続的な仕事が困難になっています。

